

一般質問通告書

令和8年6月2日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 14番 是永 宙

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は { ①. 全項目一括質問一括答弁
2. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号 2) 発言事項	産後ケア事業の充実と母子保健の入口づくりについて
要旨 (項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)	<p>近年、核家族化や地域とのつながりの希薄化が進む中、出産直後の母親が孤立しやすくなっており、心身の負担や育児不安の軽減を図る「産後ケア事業」の重要性が高まっています。</p> <p>産後ケアは、母親の身体的回復を支援するだけでなく、育児相談や授乳支援、母親同士の交流機会の創出などを通じて、産後うつや育児孤立の予防にもつながる重要な子育て支援施策です。また、出産後の早い段階で支援機関や地域とのつながりを持つことは、母子の継続的な見守りや、その後の子育て支援にも良い影響を与えるものと考えられます。さらに産後ケアは、支援が必要な家庭を早期に把握し、継続的な支援へとつなげる母子保健の入口としての役割も期待されると考えています。</p> <p>そこで、以下について市の考えを問います。</p>

問1. 本市における産後ケア事業の現状について

本市の産後ケア事業はどのような目的で実施され、現在の実施体制はどのようになっていますか。また、利用件数および対象産婦に対する利用率はどのように推移していて、市として現在の利用状況をどのように評価しているのか問います。

問2. 産後ケアチケットの廃止による影響について

近年、滋賀県による実施施設基準の改正が行われ、乳児の事故リスク等に対応できる体制の確保が求められるようになったと聞いています。また平成29年から開始された高島市の独自事業である産後ケアチケットの配布が今年度から終了しています。これらの変更が市内の妊産婦にあたえる影響についてどのように評価しているか問います。

問3. 0歳児家庭への支援施策と母子保健について

- ① 本市では、出産後の家庭への支援として、「こんにちは赤ちゃん事業」、「おむつおとどけ みまもり便」、「地域子育て支援拠点事業」などを実施しています。これらの事業について、それぞれどのような成果と課題があると認識していますか。また、地域子育て支援拠点事業については、実際にどの程度の家庭が利用していますか。利用者同士のつながりづくりや孤立防止という観点から、どのような成果と課題があると評価しているのか問います。
- ② 母子保健の観点から、出産後の産婦と継続的に関わるのが重要と考えますが、その必要性と取り組んでいる事業の効果や課題についての見解を問います。

問4. 産後ケア事業の役割と「産後デイサービス」の導入について

福井県高浜町では、地域の民宿等の宿泊施設を活用した「産後デイサービス」を実施しています。助産師、保健師、保育士らが民宿などの宿泊施設に出向き、授乳や育児相談、乳児の健康確認を行うほか、母親が休息や入浴、食事をゆっくり取れる環境を提供しています。また、利用者を少人数に限定することで参加者同士の交流が生まれ、継続的なつながりづくりにもつながっていると報告されています。

高浜町では産後デイサービスを対象産婦の約9割が利用し、平均利用回数も2.5回を超えるなど高い利用実績を上げています。これは単なる育児負担の軽減にとどまらず、多くの母親が出産後早期に支援機関や地域、同じ子育て世代とつながることで、その後の母子保健や子育て支援にも寄与しているものと考えられます。

本市においても、産後ケア事業を単なる育児支援サービスとしてではなく、産婦との継続的な関わりや地域とのつながりを育み、支援が必要な家庭の早期把握と継続支援につなげる母子保健の入口として位置付けるべきではないか、見解を問います。

また、安全性の確保を前提としながら、地域資源である宿泊施設等を活用した産後ケアサービスの導入を検討してはどうか、市の見解を問います。